

まだ見ぬ同世代と 未知の離島で異文化交流



複数の学校の先生が集まり、協力し合って、
実現したイベントについて、本日はお話をさせていただきます

イベントの概要（「犬島サマーキャンプ」）

参加者：

- 生徒31名（全8校）
- 先生8名
- 社会人10名（NPOタテイトメンバー）

実施場所・時期：

- 犬島
- 2017年8月11日（金）～8月13日（日）
2泊3日で実施（自然の家に宿泊）



直島・豊島・犬島



テーマ：

- 「難しい社会課題を解決するために、必要なものはなにか？」
を様々なテーマを考えながら取り組む

犬島精錬所美術館

主催：

- NPO法人タテイト
（現役社会人が中心となって構成）
- 教育実践未来会議
（関西の先生の有志団体）

協賛：

- 福武財団
- 福武文化教育振興財団



関西の学校を中心に全8校の中高生が参加（総勢31名）

- 育英西中学校・高等学校（奈良・私立）
- 関西大倉中学校・高等学校（大阪・私立）
- 京都工学院高等学校（京都・市立）
- 倉敷青陵高等学校（岡山・県立）
- 咲くやこの花中学校・高等学校（大阪・市立）
- 高田商業高等学校（奈良・市立）
- 西大和学園中学校・高等学校（奈良・私立）
- 百合学院中学校・高等学校（兵庫・私立）

※各校の教員も参加

※参加者は、教員を通して参加を呼びかけ

※高校生 1 ～ 3 年生が中心（中学生の参加もあり）

プログラムのテーマと特徴

生徒が取り組んだテーマ

**難しい社会課題を解決するために、
必要なものはなにか？**

プログラムの特徴

1

島がもつ日頃とは異なる環境の中で、
“**答えの無いリアルなテーマ**”に取り組む

2

普段関わらない多様な同世代の“**他校の高校生**”と関わる

3

福武財団、島民、移住者、複数校の先生、複数校の生徒を
含めて“**多様なステークホルダー**”とともに実施

本日お伝えしたいこと & 本日の流れ

1

何故こうした新しい取り組みにチャレンジできたのか？

先生一人では、動かせなかった。何かを変えたいと思っている先生達が集まったことで、**強い原動力が生まれた**

参加者集め、学校への説明、プログラム設計といったハードルをどのように乗り越えたか？

- 各学校でも進め方は変わる。先生同士が状況共有・アドバイスをしながら、**一人でも多く参加できるように働き掛けた**
- 外部のNPO団体の協力の下、月1回の打ち合わせを通して、先生たちの思いも盛り込んだ**プログラムを協働で作った**

Chapter 1

先生&社会人

2

参加した生徒の学びや興奮はどのようなものだったか？

普段の学校では体験できない**リアルな課題を他校の生徒、先生、島民、社会人と一緒に**考えることで圧倒的な刺激を得た

Chapter 2

生徒

3


先生にとっての学びは何か？

- “**生徒の学ぶ力**”を改めて認識することができた。
- **先生側も仲間を作って協働することで**大きな取り組みを実現できることを知った

Chapter 3

先生

Chapter 1



犬島サマーキャンプ

2017.8.11～13

大阪市立咲くやこの花高等学校
田中 愛子

踏み出せた**原動力**＜このメンバー＞

- **NPO法人タテイト**によるワークショップ
「もし『サマーキャンプ』をするなら...」
- **多様な**学校の先生たちによる学び。



- その先生の（後ろにいる）**生徒たち**をかけ合わせることで、校内だけでは実現しない、大きな「学び」を巻き起こせるのではないか。
- （参加した先生**だけではない**）様々な先生の支援、**タテイト**との運営により、『サマーキャンプ』は**現実**として始動することに。

はじめの**一歩**（平成29年4月22日）

犬島サマーキャンプ**キックオフミーティング**

- ・ **タテイト**による進行

Q.「なぜこのワークショップに関わっているのでしょうか？」

A.「生徒のルネサンス」

A.「＜この多様なメンバー＞で
やってみたら
おもしろそうだから」



その時**歴史**は動いた(GW)

- 下見、具体的提案に感動
- どう関わるか

生徒への**広報**(5月～)

- 応募方法も様々
- 言うは易し、行うは...
- 近畿以外の学校へ呼びかけへ



こんどう 近藤直輝

こんにちは。先日はお疲れ様でした。ゴールデンウィーク中日、いかがお過ごしでしょうか？
より良いものをより良く共有するために、稚拙ながら敢えて意見させていただきます。

昨日、犬島に下見に行きまいりました。まず港に着くまでに気になったのが、予定での8月11日は山の日でお盆前の金曜日であり高速道路は大渋滞、昨日も神戸を9時に出発して、ほぼ休憩無しで宝伝港に13時到着、みんなで寄り合ってバスで行くには相当な覚悟がいるなど感じました（弊校はスクールバスを所有しており、例えば高速代を入れても1台50人乗りで3万円ちょっとで行けるとします）。電車なら近畿圏では1番近い本校でも一人片道5000円はかかります。

西大寺駅から約30分で宝伝港、昨日はゴールデンウィーク5連休初日なので80名乗りの船がほぼ満タンでした。島は、気候がよかったせいもあるでしょうが、快適そのもので、どこに行くにも10分も歩けば到着するイメージ、自然の家も快適に生活できそうです。予約状況を見せてもらうと、8月11日から13日は長濱さんの名刺が挟み込まれていて、タテイト様のやる気と

私達の覚悟を改めて感じました。グループワーク、自由研究、フィールドワークなど、取り組みの可能性を考えるとワクワクするのも事実です。帰り道は全て順調で、気持ちよく帰宅することができまし



最終打ち合わせ（7月22日）

- 「リアルな課題解決をするために必要なものは？」
- 生徒の主体的活動で
自己肯定感を高める
タテイト＝ファシリテーター
教員＝ウォッチャー
- というか、
本当に行けるのだろうか？



引率ありがとうございます。引率のないので一足先に着いて待っています。すし詰めの新幹線は初めてです。



10:41着で移動しています。

吉川 晶子



百合全員乗りました！



大島利隆



吉川 晶子



着いたらどうしたらいいですか？

大島利隆



前に止まってる電車に乗りました！

吉川 晶子



乗ります！

乗りました！！

NP0法人タテイトとは

WHO

若手社会人（20～30代を中心）

- ✓ 先生や両親よりも親近感を持ちやすい
- ✓ 豊富な若手社会人ネットワーク

WHAT

中高生と社会の架け橋に

- ✓ 若手社会人が「今振り返ると、あったらよかった」を体現
- ✓ 学校教育の補完的役割

HOW

ワークショップによる協働、座談会

- ✓ 一方向の講演形式だけでなく、双方向でコミュニケーションできるワークショップを採用
- ✓ 同じ目線に立ち、学び合う関係を構築



約6年のワークショップ活動を経て、 “複数校合同合宿” 実施を模索しておりました

これまでのワークショップ

- 出張ワークショップを複数校で展開
- 東京を活動の中心に据え、対象校を拡大（約40回の実施）



犬島サマーキャンプ

- 生徒の“いつものモード”から大きく解放したい
- 面白い素材で、より“自分なりに”、より“真剣に”、学ぶ姿勢を引き出したい
- 約6年の経験を生かし、**合宿型ワークショップを企画**



先生方と約1年間、月1のMTGを通して、 プログラムを作り込んでいきました！

先生向けワークショップ @大阪 (2016年10月)

- 約60名の先生方（関東・関西合計）との対話
- 学校の**垣根を超えた合宿型ワークショップを構想**。約10校参加意思あり

開催地の決定 アイデア構想 (12月～4月)

- 福武財団の方とご相談し、開催地として犬島を推薦いただく
- **タテイトが複数回犬島を訪問し、実施可否を確認**

実施に向けた討議 @大阪 (2017年4月)

- 先生方と具体的な**合宿型ワークショップ実施の方向性を討議**。
- 実施にあたり懸念点等を洗い出し

アイデア具体化/ 募集方法検討@大阪 (2017年5月)

- 合宿型ワークショップの具体アイデアについての議論
- **生徒募集の仕方・稟議の通し方についても議論**

プログラムの 詳細内容検討@大阪 (2017年6月)

- **費用面、移動手段、募集方法等を決定**
- プログラムの大枠の内容について合意

最終打ち合わせ@大阪 (2017年7月)

- 8月の本番に向けて、**各プログラムの詳細とゴールについて確認**
- **タテイト・先生の役割分担**と当日の動線を確認

先生方の想いを形にするために、 協力できる団体はきっと多く存在します！

タテイトができること

- 生徒の気づきを深めるプログラム設計
- 社会人経験を生かした、先生・生徒・島民・財団とのコラボレーションの推進
- 様々な業界で働く社会人のリアルな話の提供



先生方ができること

- 生徒のイメージをもって、プログラム設計に想いを込める
- プログラムに関心を持ちそうな生徒に声をかける
- イベント当日、実際に生徒に関わる



補完関係



タテイトにとっての4つの学び

当初思っていたこと

1

様々なバックグラウンドのある
学校の生徒が初対面で
活動できるか不安

2

難易度が高い課題に対して、
本当に取り組むことができるか
不安だった

3

プログラムは生徒が取り組むもので、
大人はそれを与える立場

4

単発型のイベントで取り組みの効果が
持続しないのではないかと不安だった

サマーキャンプを通じた新しい気づき

生徒同士がつくる対等な
関係づくりの力に驚かされた



実体験を通して、生徒の学ぶ力
(リアルな課題からの学び)
の大きさに改めて気づいた



大人（島民・先生・社会人）が
同じ立場で本気で取り組むから
こそ、生徒の気づきが生まれる



生徒に最も近い目線の先生の方々と一緒に活動することで、
フォローできるつながりを生む



Chapter 2

まだ見ぬ同世代と 未知の離島で 異文化交流

育英西中学・高校／関西大倉高校／京都工学院高校／倉敷青陵高校
咲くやこの花高校／高田商業高校／西大和学園高校／百合学院高校
の生徒たち

今日のテーマ

多様性と協働していく力


● 普通科共学校

● 総合学科共学校

● 商業科工業科共学校

● 普通科女子校





なぜこのキャンプに
参加しようと思
ったのか？

Question #1



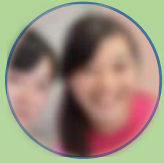
犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子

育英西高校 2 年
女子

違う学校の仲間と過ごし、共に考える中で『多様性』を感じ、たくさん
のことを吸収できるのではないかと
思ったからです。

既読

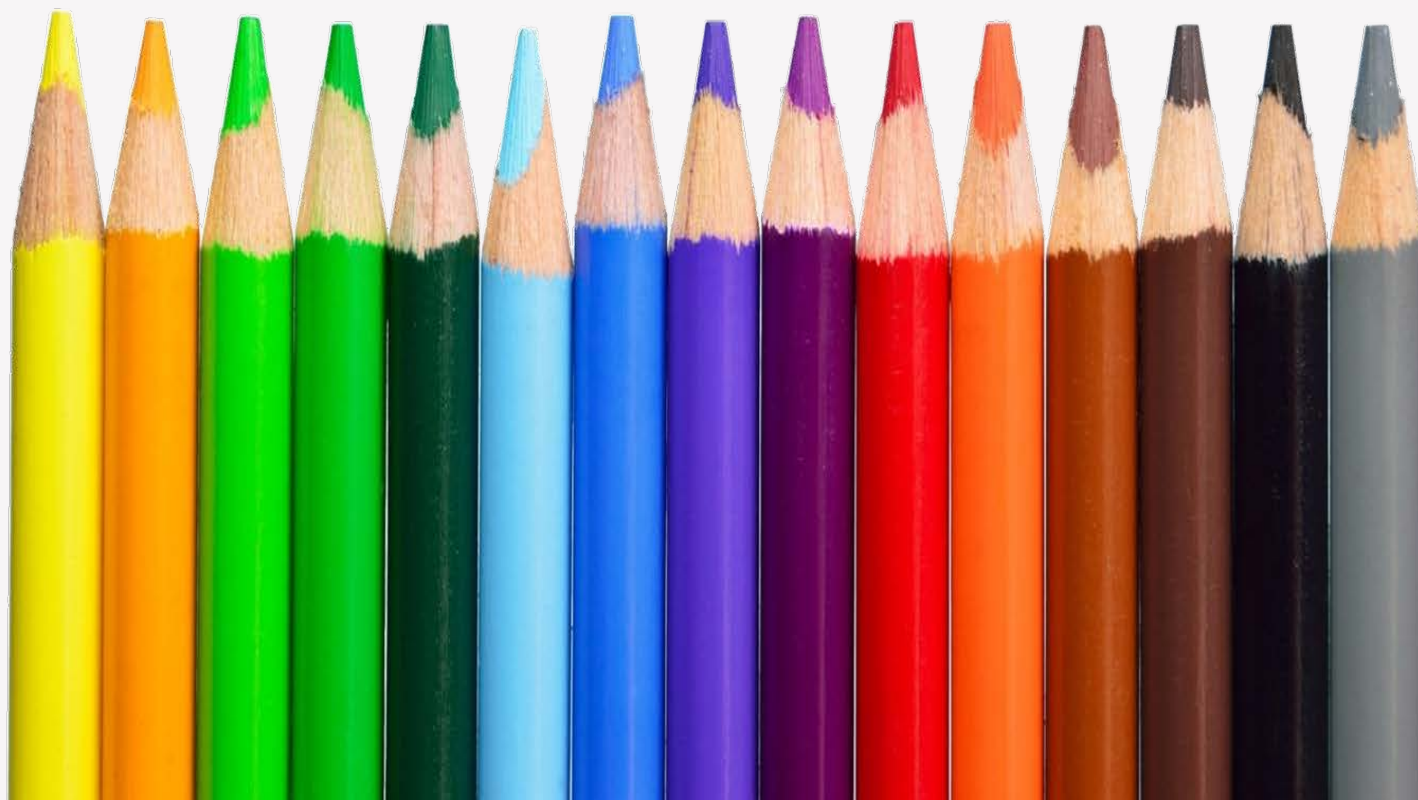
21:37

関西大倉高校 1 年
女子

最近よく耳にする「少子高齢化」や
「過疎化」などのワードは知ってい
ても、生活する中でこういった現状
を感じることがなく他人事のように
考えていたが実際に現地に行き、自
分の身体で感じるができるいい
機会だと思ったから参加を決めまし

不安はあった？ どんな不安？

Question #2





犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子

百合学院高校 2 年
女子

私は割と人見知りな方なのですが、
全く知らない土地で、全く知らない
人とグループで活動はもちろん、3
日間生活を共にする…ということで、
3日間で学べるかはもちろん、なに
より楽しむことができるのかが不安
でした。

既読
21:37

リアルな社会課題に 向き合って感じたことは？

Question #3





犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子



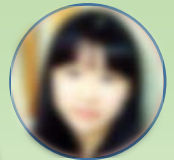
関西大倉高校 1 年
男子

答えが一つじゃない問題に取り組めて充実感があって、リアルな社会課題に向き合ってどんどん新しいことに挑戦していく勇気がわきました。

既読

21:37

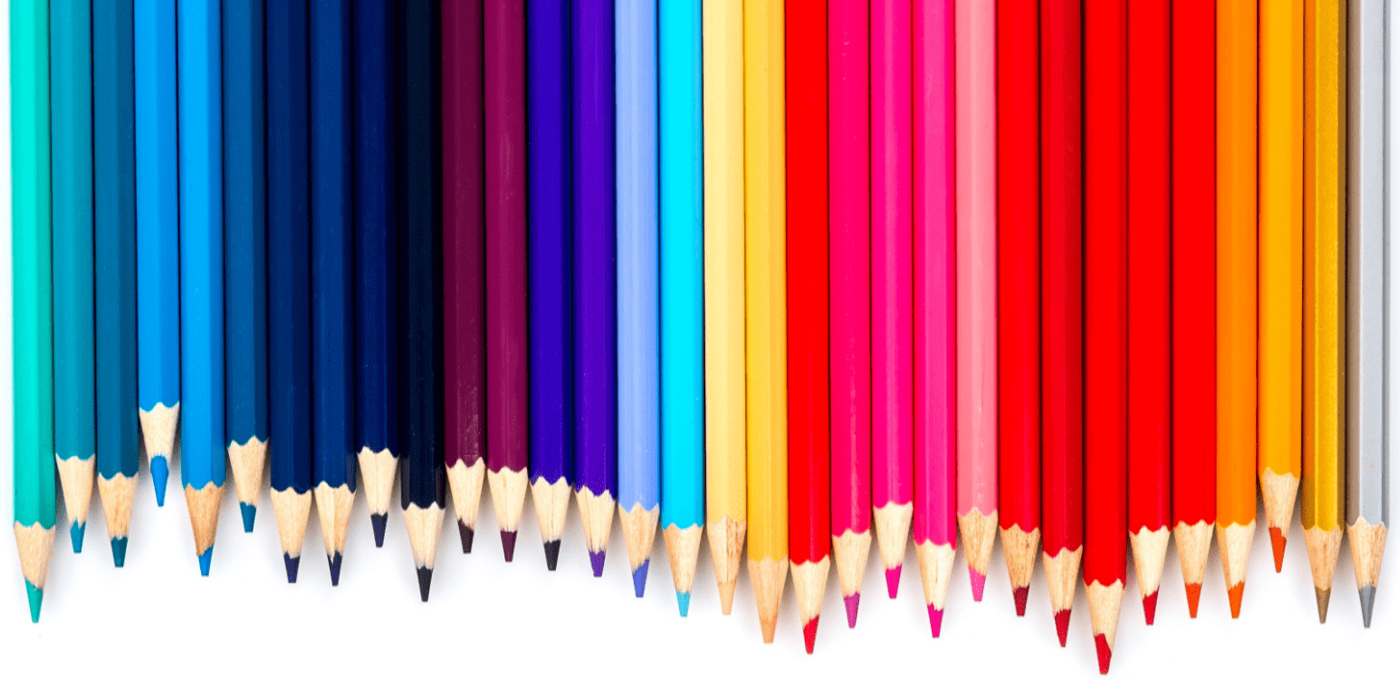
育英西高校 1 年
女子



犬島の課題の解決策は、そう簡単には見つけられないということを感じました。歩いて1時間弱で一周できるような島でも、まだまだ考えなくてはならないことがたくさんありました。

既読

21:37



学校の学びとはどう違う？
どうつながっている？

Question #4



犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子



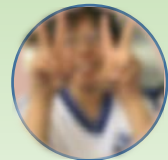
育英西中学校 3 年
女子

学校の中ではクラスメイトとしか
ディスカッションしませんが、今回
のような企画は初めて会った人と初
めて来た島で問題をどのように解決
するか、と考えることが凄く新鮮
だったことがやはり学校とは違うの
かなと思いました。

既読

21:37

倉敷青陵高校 1 年
女子



学校では、こんなに長く話し合いの
時間をとらないし、外に行ってまで
話し合いをするようなことをしませ
ん。また、話し合いのなかでも積極
的な人と、そうでない人がいるから、

違う学校の仲間と過ごして、 何を感じたか？

Question #5





犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子



...

関西大倉高校 1 年
女子

お互いにいい刺激をしあいながら話し合いをすることができ、一人が発言した考えをみんなでもっと良い考えにすることができたことを、違う学校の仲間と過ごして感じました。

既読
21:37育英西高校 1 年
女子

色々な人たちと会話をして、私が考えていたこととは全然違う良い発言をしていたので、そういう発想もあるのだと思いました。

既読
21:37

初めて会う仲間と
学ぶことに
不安はあった？

Question #6





犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子

咲くやこの花高校 2年
男子

初対面の人たちと、協力して作業をしたり、話し合ったりできるかどうか不安でした。

これまで入学以来一緒に過ごしてきた人とでも、活動に対する温度差があったりして、同じ視点で何かをやるのが難しかったのに、初対面でそれができるとはあまり思えなかったです。

でも、意欲がある人ばかりだったので、いつもより活発なグループワークができて楽しかったです。

既読

21:37



自分の中に変化はあった？ どんな変化？

Question #7





犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子



京都工学院高校 2 年
男子

物事の見方が大きく変わりました。
具体的には主観的視点、客観的視点
に加え総合的視点があることを知り、
その見方を知りました

既読

21:37

百合学院高校 2 年
女子



リアルな社会課題と向き合って感じ
たことは、課題をクリアするために
私達がたくさん外部から色んなもの
を持ち込んだらいいってわけじゃな
くてその場その場の大切にしている
ものを守りながら考えていかないと
だめなのだと思います。犬島に来
るまでの考え方も変わりました。まず



もし…
同じ学校の友だちが
参加していたら
何が変わると思う？

Question

#8



犬島に行った生徒のグループ(21)

普通共学

総合共学

商業工業

普通女子

高田商業高校 3 年
女子

同じ学校では価値観など似ていることがあったり、頼ってしまうと思う。なので、誰も知らない場所にひとりで行くことで、自分の力でどうにかコミュニケーションをとったり、考えて行動するので終わってからはグループに誰もいなくて良かったと思った。

既読

21:37

高田商業高校 3 年
女子

でも、友達がもっと参加していたら、学校に戻った後でも思ったことや感じたことを共有できて、犬島につい

既読

Question

年齢をこえて
犬島で学んだこと

女子

中学2年生（最年少参加者）





育英西中学・高校／関西大倉高校／京都工学院高校／倉敷清陵高校
咲くやこの花高校／高田商業高校／西大和学園高校／百合学院高校
の生徒でした

Chapter 2

ありがとうございました

Thank you very much.

Chapter 3

プロフェッショナル 生徒の流儀

咲くやこの花高校
2年生
男子

サマーキャンプを終えて

プロフェッショナル
教師の流儀



大切なのは、大人たちだって学び続けること。

今までの“あたり前”をこえて、

新しい“あたり前”、みつけられました。

まだ見ぬ同世代と 未知の離島で異文化交流

ありがとうございました